様式第１号別添３

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

貴企業において重点的に取り組んでいる安全衛生についての事例を記載して下さい。
提出に当たっては、次のいずれかに〇をつけて下さい

（〇）企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する

（　）取組事例のみ厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する

（　）企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページの掲載に同意しない

企業名	一般財団法人あんしん財団

安全衛生取組事例
１．年度の安全衛生健康増進プログラム推進計画に則した各種 20 項目への取組み ※別添 3-1「2025 年度推進計画」参照 ２．年度の心の健康づくり計画に則した 3 つの取り組み ※別添 3-2「2025 年度心の健康づくり計画」参照 ３．健康経営戦略マップに則した 8KPI への取り組み ※別添 3-3「2025 年度健康経営戦略マップ」参照

別添3-1

６．2025年度 安全衛生・健康保持増進 プログラム

（２）2025年度進推計画 （★目標項目）

項 目	活動スケジュール												備 考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1)衛生委員会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原則第2木曜日・本部会議室A
2)年間計画表の作成	発表（周知）											審議・決定	
3)健康優良法人　認定取得準備	認定基準の整備						健康経営度調査票提出	結果フィードバック					
4)職場巡視：本部（産業医・衛生管理者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
支局・支所（衛生推進者）	○						○						
5)安全衛生週間等への対応	6日～15日 春の交通安全運動		1日～30日 全国安全週間準備期間	1日～7日 全国安全週間		1日～30日 全国労働衛生週間準備期間 秋の交通安全運動	1日～7日 全国労働衛生週間		12/1～1/15 年末年始無災害運動				PCデスクトップへポスター表示、事務室内サイネージ又はポスター掲示等
6)定期健康診断の実施 ★		○	○	○	○	○	○	○	○			結果票 労基署提出	
7)雇い入れ時健康診断の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	入団前後の3か月以内受診が対象
8)再検査受診の促進 ★				○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業医の再検査判定による
9)特定保健指導面談の促進 ★							○	○	○	○	○	○	協会けんぽの判定による
10)ストレスチェック ★				準備 案内	実施	高ストレス者面談指導		集団分析集計		役員・衛生委員会への報告、全体結果の周知、検査結果労基署提出			
11)インフルエンザワクチン予防接種促進 ★							○	○	○	○	○		
12)産業医による安全衛生・健康保持増進講演会 ★							実施 収録	○	○				10月産業医の講演会
13)メンタルヘルスセルフケア・ラインケア研修 ★									収録	○	○	○	12月産業医研修動画収録又は監修
14)新任衛生推進者・事業場内メンタルヘルス推進担当者管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	管理職登用時案内⇒講習受講⇒修了証等カオナビ登録
15)新入団職員雇入れ時安全衛生研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	入団時
16)女性特有の健康に関する研修 ★	○	○	○	○							○	○	
17)KENPOSを活用した健康保持増進企画の実施 ★	準備 案内	○	○			準備 案内	○	○		アンケート実施		集計結果 報告	
18)健康・メンタルヘルスケア・卒煙応援★等の情報提供 WELLNESS NEWS LETTERの月次配信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康支援／卒煙応援／「KENPOS」サイトの活用／産業医寄稿等
19)喫煙意識調査（アンケート） ★										準備 案内	○	集計結果 報告	
20)食中毒・感染症等注意喚起・対処法等の情報配信	花粉症		食中毒・熱中症				インフルエンザ・ノロウイルス					花粉症	その他 風疹・はしか・新型コロナウイルス感染症（通年）など
項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
	活動スケジュール												

2025年度 心の健康づくり計画

中期計画	基本方針			当法人で働く人の心の健康は、本人とその家庭の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調者だけでなく、広く職場のコミュニケーションの活性化など心の健康づくりに取り組む。
	目標			1. 管理職を含む職員等が心の健康問題について理解し、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たせるようにする。 2. 円滑なコミュニケーションの推進により活気ある職場づくりを行う。 3. 管理職を含む職員等について職務や職場環境による心の健康問題を発生させない。
	基本的実施事項			1. 個人のプライバシー保護の徹底 2. 心の健康づくり体制の整備 3. 職員等が相談しやすいよう相談窓口の周知 4. ストレスチェック制度の適切・適正な実施と定着・促進 5. セルフケア・ラインケア等、心の健康に関する研修会の開催 6. 衛生委員会での心の健康問題の調査審議
	推進体制及び担当役割	推進体制	担当者	役割等
		職員・パートタイマー		1. ストレスや心の健康について理解し、ストレスチェック受検機会の活用によって自身のストレスについて把握する。 2. ストレスチェック結果に応じ、医師(産業医)による面接指導や、その他の事業場内産業保健スタッフによるストレス関連の相談対応や保健指導を利用する。
		管理職	所属長 (部長・支局長)	1. 職場の管理職として、ストレスチェックの集団分析結果に基づき、職場環境等の改善を通したストレスの軽減、部下からの相談への対応を行う。 2. 管理職自身もストレスチェック受検機会の活用によって自身のストレスについて把握し、ストレスチェック結果に応じ、医師(産業医)による面接指導や、その他の事業場内産業保健スタッフによるストレス関連の相談対応や保健指導を利用する。
		事業場内産業保健スタッフ等		管理職を含む職員等の活動を支援する。
		事業場内産業保健スタッフ等 産業医	●●医師 ●●医師	心の健康づくり計画の企画・立案及び評価への協力
				管理職を含む職員等からの相談への対応と保健指導
				ストレスチェックの内容と実施方法、対象範囲、高ストレス者選定基準に対する意見提起
				職場環境等の評価と改善によるストレスの軽減（ストレスチェックの集団分析結果等に基づくものも含む）
				管理職を含む職員等に対する情報提供及び教育研修
				外部医療機関等への連絡
				ストレスチェック結果に基づく面接指導後の事後措置を含む就業上の配慮についての意見
		事業場内産業保健スタッフ等 衛生管理者	●●●	産業医と協力して、ストレスチェックを含めた心の健康づくり活動を推進する。
		事業場内産業保健スタッフ等 労務部	部長	管理職を含む職員等からの相談があればその対応を行う。 また、管理職だけでは対応が困難な問題（職場配置、人事異動等）に対しては、人事部と協働して労働時間等の改善及び適正配置を行う。
		事業場内産業保健スタッフ等 衛生推進者 兼 事業場内メンタルヘルス推進担当者	労務部担当者 支局長	産業医の助言を得ながら、 ①心の健康づくり計画の策定・労働者への周知・実行状況の把握の実務 ②セルフケア、ラインケアによるケアを推進するための研修等の計画・立案・実施・評価の実務 ③事業場内のメンタルヘルスに関する相談窓口 ④事業場外資源との連携の窓口など 事業場内で行われるメンタルヘルス対策をサポートする。
		衛生委員会	委員	事業場内メンタルヘルス推進担当者を中心に心の健康づくり計画の策定に関わる。また、ストレスチェックを含めた計画どおりの心の健康づくりが進められているか評価を行い、継続的な活動を推進する。
単年度計画	2025年度目標			1. 法令に基づくストレスチェックの実施
				2. 職員間コミュニケーションの促進
				3. ストレスチェック結果を踏まえた産業医等によるメンタルヘルスセルフケア及びラインケア動画研修の実施
	2025年度計画			1. 8月ストレスチェックの実施
				2. 健康増進企画等を通し、職員間のコミュニケーションを図る。
				3. 年度内にストレスチェック結果を踏まえた●●産業医等によるメンタルヘルスセルフケア及びラインケア動画研修の実施
	2025年度計画の評価方法等			1. ストレスチェック受検対象者の受検率のチェック（目標：90%以上）
				2. 職員間コミュニケーションが図れたとするアンケート満足度60%以上
				3. メンタルヘルスセルフケア及びラインケア動画研修の受講者の事後アンケート回答率のチェック（目標：管理職を含む職員等及び管理職の90%以上）

別添 3-3

【基本情報】

従業員等の男女比率	男性8：女性2
従業員等の平均年齢	49.8歳

【健康経営戦略マップ】

作成年：2025年4月

事業運営の基本理念		• あんしん財団は、日本経済発展の基盤である中小企業を支援する一般財団法人として認可特定保険業及び災害防止・福利厚生等お客様サービス事業の運営を通じ中小企業の健全な発展と福祉の増進に寄与します。 • あんしん財団は、つねに中小企業の方々の立場に立ち、中小企業にとり真に有益なサービスとは何かを考え、社会に貢献する事業内容の向上に努めます。 • あんしん財団は、中小企業の方々から信頼される一般財団法人として、その事業活動の価値を広く社会から認められるよう、役職員全員が不断の努力を続けてまいります
健康経営の推進方針		当法人は、あんしん財団で働く全ての人の労働安全衛生と健康の確保が事業活動の最重要基盤であると考え、職場の安全衛生に関する法令や規定を遵守するとともに、健康でやりがいのある職場づくりのため、以下の基本方針を推進します。 1. 職員が心身ともに安全で快適に仕事ができる職場づくりに取り組みます。 2. 職員の健康維持・増進を積極的に支援します。 3. 職員間の円滑なコミュニケーションを図ります。 4. 労働安全衛生に関する法令や規制、諸規定を遵守します。 5. 当方針を全職員に周知し、研修等により安全衛生に関する意識向上に努めます。
目標年2028年	健康経営の目標	・生活習慣病リスクの低減－特定保健指導該当者の減少、生活習慣病リスク保有者の減少―
	KGI	・定期健康診断結果における有所見者率の低減 ・有所見率を3年で2025年度比+-3ポイント以内とする

健康投資の効果

健康関連の最終的な目標指標

- アブセンティーズム日数（休職制度の利用日数全職員平均） +2日以内（2024年3月末と比較）
- プレゼンティーズムの+-3P以内（2025年度職員サーベイ比較）

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- 特定保健指導対象者に占める実施率 50%以上
- 定期健康診断受診後の2次検査受診率 60%以上
- 職員サーベイのスコア平均 3.9P以上

健康投資施策の取組み状況に関する指標

- KENPOSの年間平均利用率60%以上
- 定期健康診断受診率100%
- 職員サーベイの回答率90%以上

健康風土の醸成

サポート、組織的支援（POS）、WSC等

- 上司の支援3.5P
- 同僚の支援2.9P（2024年度SC）

方針実現のための体制・環境

- 健康経営推進責任者：労務部長
- 協会けんぽとの健診データの共有
- 健康優良企業「金」認定（2025.3.18）

健康経営の浸透状況

- 健康経営の推進方針、目標に関する認知率
- 理事長メッセージ「健康経営」の取り組みについて（労務部ドキュメント検索）

健康投資

- KENPOS
- バリューＨＲ健診結果管理システム
- 人間ドック受診補助（40,000円）
- 胃カメラ、乳がん検査、子宮頸がん検査の補助

従業員の健康課題

- 運動不足
- 有所見率の高さ（75.0%）
- 生活習慣病（肝機能、血中脂質、血糖 ほか）リスクの高さ